

| 事業所名 | ふわり本町 | 支援プログラム（参考様式） | 作成日 | 令和7年 2月 1日 |
|-----------|---|---|--|------------------|
| 法人（事業所）理念 | 「豊かな環境でのびのびと」を基本とし、世界保健機関（WHO）の新しい国際生活機能分類（ICF）および社会福祉法・知的障害者福祉法・障害者総合支援法の理念である利用者本位を使命として、利用者の「自立と生活の質の向上」を目指します。これらの経営理念を分かり易く皆様に伝えるため「こころイキイキ」とテーマに掲げると共に、このテーマをイメージしたシンボルマークで多くの方々に訴求します。 | | | |
| 支援方針 | 2歳から18歳までを支援する児童発達支援課では「いつも笑顔があふれている子へ」を基本として、「毎日の花まる」「できた」など数多くの成功体験を通じて自分を認め、自信をもつて毎日をイキイキと生きる。そんな子どもたちの未来を創る。①自分を大切にできる。②幸せを感じる。③新しいことに挑戦できる。④自分の意思で決める。小学校低学年を中心に支援を行います。 | | | |
| 営業時間 | 平日（14時30分～18時）・学校休業日（9時30分～14時30分） | 送迎実施の有無 | 平日帰り（自宅まで）なし | 学校休業日（自宅まで）あり |
| | 支 援 内 容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・本人に合ったわかりやすいスケジュールを使用して、生活リズムを身に付けることができるようになります。 ・構造化を行い、自分でスケジュールを見て見通しをたてて自立して行動できることを目指します。 ・トイレ、手洗い、着替えなどの生活スキルの習得、向上ができるように支援を行います。 | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす時間を設定し、体幹を使い体を動かす運動や遊びを展開します。 ・学習をする時に音や視覚的な過敏を取り除くことが出来る環境を提供します。 ・様々な感覚刺激を取り入れた活動を提供し、苦手な感覚の緩和を目指します。 | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・工作などの活動では手順書を使用することにより、視覚的な情報を見て自分で行動できることにつなげていきます。 ・給食やおやつを通して偏食に対する支援を行います。 ・集団活動を行い、感触遊び、色や数の理解、季節を感じることなどを取り入れて支援を行います。 | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・要求をカードを使って行うことで相手に伝わりやすく、またその時に伝える言葉を身に付けることが出来るよう繰り返し行います。 ・活動後に振り返りを行い、その時の気持ちの表現や状況をそれぞれに合わせた方法で伝えることが出来るように支援を行います。 ・文章の読み取り、理解など本人に合わせた学習方法を見つけることにより学習支援を行います。 | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・安心して気持ちを話すことができる場所となるような関わりや支援を行います。 ・集団活動ではルールを理解して参加できるように、わかりやすいルールや見本を提示し、理解して楽しく参加できるようにします。 ・遊びの中でも友達との関係性を築くことが出来るようにグループ分けを行い環境設定を行います。 | | |
| 家族支援 | 保護者茶話会の開催をし、ご家族の悩みに寄り添っていくとともに保護者同士の繋がりを促しています。 お迎えや連絡帳にて悩みを話してもらえるような関係づくりを行い、家族支援に繋げます。 | 移行支援 | 就労体験や販売体験を行い、卒業後のサポートを行います。 必要な方は学童保育への移行をサポートします。 進学の相談を行います。 家庭での過ごし方を一緒に考え、支援終了後に向けて支援を行います。 | |
| 地域支援・地域連携 | 教育、医療など関係機関と連携し情報交換や支援会議を通して児童の将来を見据え、一貫した支援ができるよう支援します。 | 職員の質の向上 | 施設内研修（発達支援の理解、構造化を用いた支援、PECS, SST, 応用行動分析） | |
| 主な行事等 | 就労体験・季節の行事・外出支援・買い物支援・グループ活動（クッキングなど） | | | |